

KOUHOKU INFO

こうほく INFO は、グループ姉妹園の様子や取り組みなどを紹介する学園だよりです。
毎奇数月に発行しております。ぜひご覧ください。

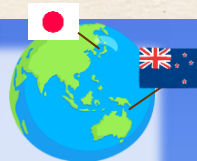
こうほく INFO Vol.1

2020年7月発行



姉妹園がある

オーストラリアの保育って？



【オーストラリアはどんな国？】

オーストラリアは南半球にある豊かな海に囲まれた国で世界一大きな島です。美しい自然環境と、他では見られない固有動物や鳥類が数多く生息しています。多くの国や地域から移民を受け入れており、文化や民族、言語や宗教などにおいて多様性に富んでいます。

【オーストラリアの幼児教育】

子どもたちの将来に大きな影響を与える「幼児教育」の質の向上に力を入れる国が増えています。オーストラリアも熱心に取り組む国のひとつ。世界で注目を集める高い水準を持つニュージーランドの幼児教育をいち早く取り入れるなど改革を行いました。幌北学園は、その高水準の幼児教育を取り入れるため、2016年にニュージーランドの保育施設と提携を開始し、2017年よりオーストラリアでの保育園運営を開始しました。

日本の一般的な保育では、制作活動の時間やおやつ・給食など、活動するスケジュールをクラス全体で決めて行う「集」に重きを置かれる場合が多いのですが、**オーストラリアでは徹底的に「個」。**一人ひとりの意思を尊重した子ども中心のプログラムです。子どもたちが自分であそびを選んでじっくり取り組めるように、あそびのテーマによってエリアが分けられています。運動や砂場、ブロックやクラフトなど、子どもたちの興味などに合わせたさまざまなエリアがあり、決まった遊び方があるのではなく、子どもたちが自由に好きなあそびを組み合わせたりしながら、それぞれのあそびを広げていきます。また、移民が多いという特性を活かして、出身国の文化だけでなく、いろいろな国の文化への関心や理解、尊重する心も育てています。

幌北学園では、オーストラリアの教育・保育を参考に、日本・オーストラリアそれぞれの良いところを取り入れるなど、相互に影響しあいながら、子どもたちの可能性を伸ばすより良い保育を目指しています。

主体性を育む保育とは？

近年よく耳にする「主体性」。主体性とは、何が必要か自分で考えながら、自分の意思で行動を決定する性質のことです。先生から「教わる」のではなく、あそびや体験の中で、子どもたち自身が「気づく、感じる、考える」経験から育まれていくといわれています。

幌北学園では、体験の中で生まれる子どもたちそれぞれの疑問や好奇心、興味の種をつまず、認める、褒める、尊重するようにしています。芽生えた感情や思い、そこから得る学びは一人ひとりの力になって、個性や強みを伸ばしていくと考えています。

「たくさんの体験からいろいろなことを身につけていけてもらいたい！」。幼児期はあそびをとおして、自分の興味があることを見つけたり、さまざまなことに興味を持ったり、それによって考えたり学んだりといった経験をします。学園では、幅のある体験を提供していますが、その多くは「あそび」の体験。英語あそびや体育あそびのように、みんなでやるもののほかに、オーストラリアの保育のように、一人ひとりが関心を持ったあそびを追求したり広げたりできるような、あそびのコーナーづくりも行っています。

自由に遊ぶ！「時計のない日」

「時計のない日」は、あそびをとことん楽しめる、幌北学園オリジナルの活動です。普段は決められた時間と活動を行っていますが、「時計のない日」では、子どもたちが主体となって時間の組み立てや好きなあそびを選びます。食べる時間や遊ぶ時間、何をして遊ぶかなど全て子ども次第！すぐにご飯を食べてしまう子や、あそびに夢中になる子、たくさんのコーナーを回る子などさまざまです。人と同じでもいい、違っていい。子どもたちが自主的に過ごすことで、自分で考えたり、選んだり、行動するという経験が身につけていきます。

編集後記

こうほく INFO Vol.1はいかがでしたか？今年度のこうほく INFO では、学園の取り組みのほか、海外姉妹園や海外の保育の情報などについてご紹介していきますので、ぜひご覧ください。次回は9月発行予定です。お楽しみに！